



さいくうあと通信



発行: 明和町 斎宮跡・文化観光課 (三重県多気郡明和町大字斎宮2811)
電話: 0596-63-5315 E-mail: saikuuato@town.mie-meiwa.lg.jp

明和町新指定文化財 (有形文化財 歴史資料)

これより げくうへ さんり **石造道標『従是外宮江三里』** **石造道標『従是外宮江二里』**

令和8年3月24日に、道標2件が新たに明和町指定文化財の有形文化財歴史資料に指定されました。道標は伊勢街道沿いに建てられた外宮までの距離を示したもので、竹川のは「従是外宮江三里」、新茶屋では「従是外宮江二里」とあります。また松阪市上川町にも同じタイプの道標が残されており、「従是外宮江四里」と記されています。(一里は約4km)

この道標は江戸時代の参宮者が実際に明和町の伊勢街道を往来していたことを示すもので、明和町と伊勢神宮の深いかわりを知ることができます。この道標は明和町での江戸時代における伊勢参宮を知る上で欠くことのできない歴史資料としての価値を持つ文化財といえます。

「従是外宮江四里」松阪市上川町

「従是外宮江三里」明和町竹川

「従是外宮江二里」明和町新茶屋

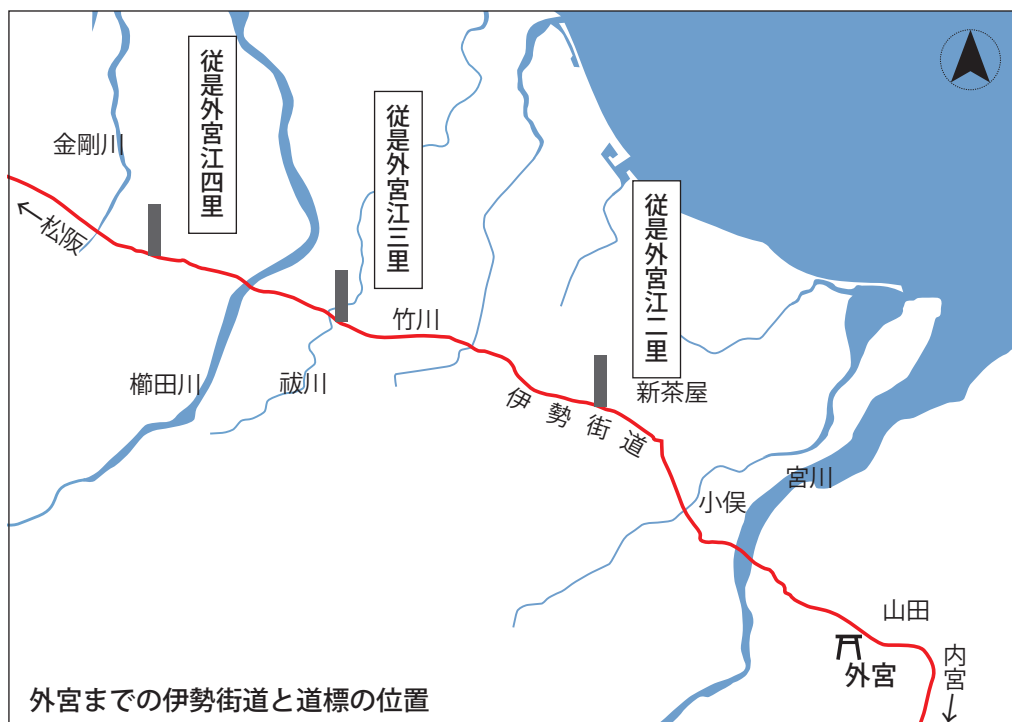


<p>江州 玉造講</p> <p>講元堤口兵衛 世話方田中庄兵衛</p>	<p>〔左側面〕</p> <p>〔正面〕</p> <p>従是外宮江四里</p> <p>〔右側面〕</p> <p>守山宿</p> <p>小間物屋利兵衛 金勝屋清兵衛 龜屋三郎</p>	<p>〔背面〕</p> <p>弘化三年丙午十一月</p> <p>発起 江州守山宿守善寺 当所世話方松浦進治郎</p>	<p>〔左側面〕</p> <p>宮川 江二里半</p> <p>世話人 松坂新町 清水屋勘六</p>	<p>〔正面〕</p> <p>従是外宮江三里</p> <p>〔右側面〕</p> <p>松阪 入口江一里半 大はし江二里</p> <p>世話人 松坂健和 紀高若山住 雑賀屋栄助</p>	<p>〔背面〕</p> <p>弘化四年丁未九月</p> <p>発起 江州守山宿 守善寺</p>	<p>〔左側面〕</p> <p>宮川 江一り<small>小</small></p> <p>伯州倉吉 小倉屋寺<small>建之助</small></p>	<p>〔正面〕</p> <p>従是外宮江二里</p> <p>〔右側面〕</p> <p>くし田川 二り 津 七り まつ坂 三り せき 十三り 六分入道分 四り 四日市道分 十四り</p>	<p>〔背面〕</p> <p>嘉永六 丑十二月</p> <p>発起 江州守山 守善<small>寺</small></p>
--	---	--	---	--	---	---	---	---

高さ 179cm、幅 31.5cm
奥行 31cm、花崗岩製

現状の高さ 167cm、幅 32cm
奥行 32cm、花崗岩製

現状の高さ 177cm、幅 32cm
奥行 31cm、花崗岩製



竹川の道標と伊勢街道（西から）



新茶屋の道標と伊勢街道（西から）

四日市の日永から伊勢神宮内宮まで続く伊勢街道には現在 56 基の石造道標が残されています。伊勢街道沿いにある道標の多くは道の分岐点に建てられており、それらは伊勢街道の方向を示すものです。そのため3基の道標のような、分岐ではなく道に直行するように立てられ、外宮までの距離を示しているものは少ないです。さらに松阪市のものを含む3基の道標が一里ごとに立てられていることで、外宮までの距離を定点的に示しており、伊勢神宮まで確かに近づいていることを参宮者に感じさせるものとなっています。

道標が建てられた年代については道標に刻まれた紀年銘から、竹川は弘化4年（1847）、新茶屋は嘉永6年（1853）とわかります。松阪市のものは弘化3年（1846）で、江戸時代の後期に外宮から遠い順に比較的短い期間に建てられました。

また道標の造立には近江国（江州）守山宿にある守善寺（時宗）が発起で共通していることが道標に刻まれています。そのほか道標には、共同で造立に携わった紀州若山や伯州倉吉、江州などの遠隔地の人々の名前や松坂徳和、松坂新町といった伊勢国の世話人の人物名も刻まれています。

道標には外宮までの距離だけが記されたのではなく、伊勢街道上の各地や周辺からの距離が記されています。新茶屋の道標には左側面に外宮までの通過点である宮川までの距離、右側面には四日市日永や関、津、松阪などが記されています。帰りの際でも現在地と各地までの距離がわかりやすい道標となっています。



竹川の道標